

愛知県内高等学校 御中

ガバナーエレクト 沓名 俊裕
地区ロータリー奉仕委員長 本多 満
地区青少年交換委員長 遠山 武志

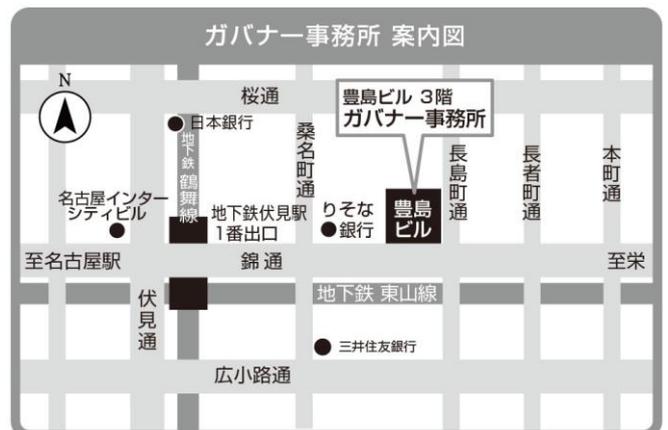
2021-22年度(2022年8月派遣) 第2760地区青少年交換プログラム
青少年交換学生・募集案内について

国際ロータリー青少年交換について、平素よりご尽力頂きますことを感謝いたします。

さて、見出しの件につきまして下記のように交換を行うこととなりますので、候補者を選考(面接し、意志確認)の上、ご推薦くださるようお願いいたします。

記

- 1 2022年8月～2023年8月 1カ年交換 約12名
 - (1)交換(派遣)先 アメリカ・カナダ 3～4名 欧州 4～5名 ブラジル 1名
 - (2)対象 出発時16歳～18歳(18歳未満)の高校生 男・女
- 2 派遣先国によっては僅かながら2023年3月に出発する場合があります(春派遣)。
- 3 派遣学生総数は派遣先国合計で 12名以内とします。
- 4 別紙志願書により、交換(派遣)希望国を明記して下記へ申し込んでください。
 - ・推薦者数 1クラブ 2名以内
 - ・申込期限 2021年7月15日(木)までに必着(厳守)
 - ・送付先 〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 豊島ビル3F
国際ロータリー第2760地区 ガバナー事務所 青少年交換委員会 宛
※推薦クラブより書留便にて送付ください。
- 5 推薦クラブは、来日学生を同数受け入れることが必須条件となります。
- 6 交換(派遣)先の受入人数が限られており、派遣(交換)希望国の通りにならない(希望国以外に派遣される)場合がありますので志願者はその点をよく理解してください。
- 7 2021年7月31日(土)に選考テストと面接によって候補者の決定を行います。なお、面接は保護者同伴で行います。面接は英語で自己紹介・抱負等を述べてもらいます(約3分程度のスピーチを用意してください)テストの場所は ガバナー事務所(名古屋市中区錦2-15-15 豊島ビル3階)にて、13時開始を予定しています。
- 8 応募者の資格(下記資格のない生徒は受付いたしません。)
 - ◎日本国籍を有する志操正しく健康闊達な高校生で出発時の年齢が16歳～18歳(18歳未満)のもの。
 - ◎学年成績が上位1/2以上で、語学の習得に積極的なもの。
 - ◎第2760地区(愛知県)の学校に在学するもの。
 - ◎ロータリアンの子弟を問わない。
 - ◎学校長の推薦および留学または休学許可を得られるもの。
 - ◎親の許可を得られるもの。
 - ◎推薦クラブの会長の承諾(サイン)を得られるもの。
 - ◎中学3年生でも受験資格はありますが、派遣国が限定されることもあります。



青少年学生派遣について

ロータリー青少年交換学生の目的

ロータリーは、ロータリー国際青少年交換プログラムに基づき、海外のロータリーと留学生の交換を行っています。交換学生は、一定期間外国のロータリアンの家庭およびロータリーが推薦する家庭にホームステイし、その家庭の一員として過ごしながらか、現地の学校に通学します。そしてその国の言語を習得するとともに、これらの生活を通じて、風俗・習慣・文化を見聞しながら国際理解と親善を推進します。すなわち、善意と国際理解のロータリー使節であります。

Rotary Ambassador of Goodwill and International Understanding

当2760地区では、昨年まで、毎年10名前後の青少年を海外へ派遣し、またほぼ同数の受入を実施しています。2005-06年度ステンハマー国際ロータリー会長は、『すべての国の高校生がこの青少年交換プログラムに参加すれば、世界のすべての戦争はなくなる』と述べられました。

ロータリー青少年交換学生の概要

(1)期間と相手国

2760地区では、現在、ブラジル、アメリカ、フィンランド、フランス、スイス、ノルウェー、イタリア、ベルギーを対象として、1カ年交換を実施しており、その他の国へも派遣するよう交渉いたしております。ほとんどの場合は、8月出発し、翌年7月ごろ帰国することにしてはいますが、特定の国によっては、3月に出発し、翌3月に帰国する(春派遣)場合もあります。

派遣学生の総数は12名以内といたします。

(2)交換の条件等

- ◎交換学生は、出発時において16歳～18歳(18歳未満)の高校生に限ります。
- ◎定められた期間以上滞在することは許されません(1年間未満)。
- ◎食事と宿舎は受入ロータリークラブにより提供されます。原則として受入ロータリアンの家庭および、ロータリアンが推薦する家庭に入り、通常3～4ヶ月毎にホストファミリーが代わり、相手国の風俗、習慣になじみつつ生活を致します。
- ◎交換プログラムですので、派遣学生の家庭は推薦RC『スポンサーRC』から要請のあったときは基本としてホストファミリーとして来日学生の受入を承諾してください。
- ◎帰国後1カ年はロータリークラブ及び地区青少年交換委員会が主催する行事に対し出席義務を負います(必ず出席して、後輩学生のサポートをしてください)。

(3)費用等の負担

◎本人(父兄)の負担

- ア. 受入ロータリークラブまでの往復旅費、傷害・健康保険料および衣類は本人(父兄)が負担することになっております。
- イ. 持参するお金は原則として、US\$500程度と、先方から指定された保険の掛金、グループツアーがある地区はその費用および帰国してから必要な日本円2～20万円となっております。
- ウ. オリエンテーション、交流会等にかかる諸費用、約10万円

◎受入ロータリークラブの負担

- ア. 現地(交換先)滞在費は受入ロータリークラブが負担します。
- イ. 学校に要する費用(授業料、教科書、他)は、原則として受入ロータリークラブが負担することになっております。ただし、制服・部活費は本人負担の場合もあります。
- ウ. 小遣いとして受入ロータリークラブから本人に、月々若干額(US\$80～90)が支給されます。
- エ. 推薦クラブは、来日学生を同数受け入れることが必須条件となります。

注)詳細に関しましては、国際ロータリー第2760地区HP http://www.rotary2760.org/g20-21/chiku_info/chiku_seisyounen/より青少年交換委員会のページにリンクしてください。